



9月 はとぐみだより

令和2年9月14日(月)
幼保連携型認定こども園 津田このみ学園

まだまだ暑い日が続いていますが、セミの姿が見えなくなり、部屋ではスズムシが鳴き出し、少しずつ夏から秋へ季節が変化しています。子どもたちは少し黄色に色付き始めた葉っぱに気付き、秋の訪れを感じています。



めざせ!セミ100ぴき!

園庭でセミとりに夢中の子どもたち。そんなある日の集まりで、5歳児のAさんが、「8月の間にセミ100匹つかまえようよ!」と提案したことをきっかけに、セミを100匹捕まえるセミとり大作戦が始まりました。

頭に「せみとりめいじん」の手作りハチマキを付け、やる気満々の子どもたちですが、セミはなかなか見つかりません。作戦会議をすると、「桜の木にセミがいっぱいおるって絵本で見た!」と5歳児のBさん。セミに詳しい4歳児のCさんは、「頭の方からゆっくり捕まえたらいいで」「鳴いてるときがチャンスやから鳴くまで待とう」「声にびっくりするから静かに忍者みたいに近づこう」と知っていることをいくつも出し合い、絶対に100匹とりたいという子どもたちの気持ちが強く伝わってきました。



8月が終わりに近づいてきますが、まだセミの数は約60匹。セミの鳴き声も減ってきていますが諦めきれない子どもたち。「死んでしまって落ちてくるセミも入れちゃう?」「家から捕まえてきたセミも数に入れよう」と、新しいルールも追加され、どうしても目標を達成したいという思いでいっぱいの様子でした。

津田公園に出かけると、夏も終わりに近づいているのに、なんとあっちにもこっちにもセミが!!セミとりの腕はすっかり上達しており、まるでせみとりめいじんのよう次々とセミを捕まえていきます。「こっちの木行くからあっちおねがい!」「捕まえたから虫かご貸して!」と、友達と協力して捕まえようとする子どもたちの声が響いていました。そして、見事100匹達成!子どもたちは大喜び!絶対に諦めない子どもたちの思いや努力が報われた瞬間でした。

あきをさがそう!



秋の訪れを少しずつ感じられるようになり、みんなで秋探しをすることになりました。「秋といえばなんだろう?」と考えているときに、秋のピンクのお花の名前をなかなか思い出せなかった子どもたち。次の日の朝、「わかったで!コスモスやった!」と、子どもたちが調べてきたことを教えてくれ、秋探しに積極的に取り組んでいます。

畑や公園へ出かけ、秋をたくさん見つけていこうと思います。